

会員概要



(医療機関、産業支援機関
社会福祉施設、大学 等)

社会福祉法人 松美会 アイユウの苑 (下関市)

特別養護老人ホーム「アイユウの苑」の運営法人である、社会福祉法人 松美会は、「社会福祉法人」「特別養護老人ホーム」「在宅介護サービスの複合供給体」として、日本で初めて1999年10月に品質マネジメントシステムISO9001の認証(審査登録)取得を実現しました。



提供するサービス

下関市彦島を主な拠点に以下のサービスを提供しています。

【高齢者サービス】		【保育サービス】	
特別養護老人ホーム アイユウの苑等	3 事業所	保育園	1 事業所
デイサービスセンター	2 事業所	【受託事業】	
居宅介護支援事業所	1 事業所	下関市彦島地域包括支援センター	1 事業所
ホームヘルプサービス	1 事業所		
訪問看護サービス	1 事業所		
訪問入浴サービス	1 事業所		
グループホーム	1 事業所		
ショートステイ	2 事業所		
小規模多機能型居宅介護	1 事業所		
住宅型有料老人ホーム	1 事業所		

地域との関わり ~地域の皆様の幸福(しあわせ)に貢献できる社会福祉法人を目指します~

社会福祉法人 松美会は、「地域に根ざした」「地域に必要とされる」社会福祉法人を目指し、地域と連携した活動や地域に向けた公開講座などを積極的に行っています。

【地域住民を巻き込んだ取り組みの例】

●認知症カフェの開設

認知症の人やその家族、専門職、認知症について気になる地域住民が気楽に集まり、お茶を飲みながら交流を楽しむ場所を提供しています。

●徘徊者捜索・声かけ模擬訓練の実施

認知症高齢者が行方不明になったことを想定し、徘徊役が徘徊。グループごとに徘徊高齢者の「捜索・声かけ・連絡(通報訓練)」の方法を訓練します。



●こども福祉体験教室の開講

小学生を対象に、高齢者施設の案内や高齢者疑似体験、介護食の試食等を通して、「高齢者福祉」について学んで頂く教室を開いています。



●健康体操教室の開催

地域の高齢者を対象に、専門職の指導による無料の体操教室を実施し、介護を要する状態になること無くいつまでも在宅生活が送れるようサポートしています。

【その他の活動】

認知症を地域で支えるまちづくり下関ネットワーク委員会 事務局

下関市介護支援専門員連絡協議会 事務局

法人概要

代表者	松美会理事長 松永 清美 アイユウの苑施設長 松永 紀子	担当者	法人事務局 辻中浩司
住所	〒750-0092 山口県下関市彦島迫町 3-17-2	TEL	083 - 266 - 8287
従業員数	265名(松美会全体)	FAX	083 - 266 - 7276
		E-Mail	fukushi@shoubikai.or.jp
		URL	http://www.shoubikai.or.jp/

宇部市 (産業振興部 商工振興課)

宇部市では、大学・研究機関の集積を活かした産学公連携による新事業・新産業の創出を目指しており、医療福祉分野においては、山口大学医学部・附属病院に隣接してメディカルクリエイティブセンターを設置し、事業化を目指す企業等に対して賃貸しています。



主な取組

□ 事業化支援

職員が個別相談に対応し、必要に応じて大学等の研究機関のコーディネーターと連携し、専門家への橋渡しや情報提供をします。

□ 新技術・新商品研究開発支援

産学連携による新技術・新商品の研究開発等に対して補助金を交付し、新商品等の開発支援を実施しています。

□ 事業化支援施設の提供

医療福祉分野における機器開発や新事業創出の拠点としてメディカルクリエイティブセンター（MCC）を整備し、入居希望者への賃貸を実施しています。

【MCCの概要】

□MCC本館（H15.3月建築、鉄骨造2階建、延床面積約974㎡）

○産学共同研究開発室A[4室]
約66㎡/室、月額66千円/月（税別）

○産学共同研究開発室B[3室]
約46㎡/室、月額46千円/月（税別）

○インキュベートルーム[4室]
約33㎡/室、月額33千円/月（税別）

□MCC別館（H16.12月建築、軽量鉄骨造2階建、延床面積約158㎡、1棟貸しで分割不可）

○月額72千円/月（税別）

※H28.10月時点で満室です。空き次第、随時ホームページにてご案内いたします。



[MCC 外観]



[研究室A]

問い合わせ先

住 所 〒755-8601

宇部市常盤町一丁目7番1号

U R L <http://www.city.ube.yamaguchi.jp/machizukuri/sangyou/kougyou/kaihatsushien/mcc/index.html>

担当部署 宇部市 産業振興部 商工振興課
ものづくり推進係

T E L 0836-34-8360

F A X 0836-22-6041

E-Mail syoukou@city.ube.yamaguchi.jp

株式会社 功栄デイサービスさくらえん (下関市)

下関市の中心部にあります。地域密着型デイサービスです。御客様一人ひとりの要望と体力によって改善に努めています。赤外線温熱ハーフスパを導入し免疫力を上げ少しでも痛みや身体能力の向上を目指しています。館内の水はすべて水素水を使用しています。



技術と製品

御利用者は入所当時、ほとんどの方は基礎体温が低い方が多く入所されます、当然、「今日も体温が低く健康!!!」と言う方はいらっしゃいません。

さくらえんではまず基礎体温を上げ、免疫力をアップするところからスタートします。

弊社が企画・販売をしている赤外線ハーフスパ「ヘルスリア」はそんな低体温の方々の健康に効果があります。

右下の資料は、入所されている方々の体温、血圧、ご様子を、毎日書き記しているものですが、なんと半年経過すると皆さん体温が36度台に変化してきました。

また、園内の催し物も、季節感あふれ、カラオケ歌合戦や日帰り旅行、絵や書道、工作やお菓子作り等、毎週のように行事や祭事ごとのある活気あふれたデイサービスです。

食事はすべて無添加で炊事にも水素水を使用するなど、お一人おひとりの体調やご病気にあわせ量や質を変えており高評価をいただいております。



主要設備 / 許可・認可等

業務内容:通所介護・通所予防介護(事業者番号:3570105423)

介護機器販売・介護什器設置施工・赤外線温熱ハーフスパ「ヘルスリア」販売代理店・日本トリム水素水販売店・介護福祉機器商品企画販売・アロマテラピー業務(AEAJ 会員番号 21051090)

会社概要

代表者 代表取締役社長 福本功巳
住所 〒751-0832
山口県下関市生野町 1-4-17
資本金 300万円
従業員数 5名

担当者 施設長 大下雅美
TEL 083-294-0123
FAX 083-294-0123
E-Mail n.fukumoto@office.zaq.jp
URL <http://hp.kaipoke.biz/mx9/index.html>

産総研中国センターは、中国地域における中核的な研究拠点として活動を展開しており、機能化学研究部門では木質バイオマス等の再生可能資源から高効率かつ低環境負荷で各種の基礎・機能性化学品を製造し、高度利用するための基盤技術開発を進めています。また産総研の中国地域におけるイノベーションハブとして、企業の技術相談・支援に注力するとともに、大学、公設試との連携を推進しています。

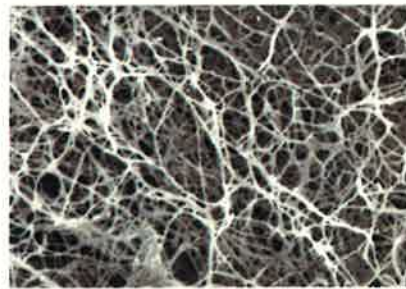


主な取組

機能化学研究部門では、木質等の植物系バイオマスからの機能性化学品製造において、その収率に大きく影響するセルロース、ヘミセルロース、リグニンの主要3成分の高効率分離技術の研究開発、リグニンから機能化学品への変換技術の研究開発、植物系バイオマスに適した糖化酵素による安価で効率的な糖類の生産技術、これら糖類を用いた発酵による機能性化学品の生産に適した宿主微生物の研究開発を行っています。また、植物系バイオマスの主要成分であるセルロースをターゲットとして、物理的・化学的手法により、ナノセルロースやバイオマスファイバーを製造し、その高い強度等のポテンシャルを生かして、樹脂複合材料や高性能材料の研究開発を行っています。さらに、ナノセルロースを高度利用するための特性評価技術の開発にも取り組んでいます。



水蒸気爆砕装置



セルロースナノファイバー電子顕微鏡写真

技術分野：その他（材料・化学領域）

産学官連携

地域産業の活性化に資するべく、中国経済産業局や公設試とも連携し、中国地域産総研技術セミナー、技術交流サロン等を開催してイノベーション創出活動を展開しています。また2012年に発足した「産総研中国センター友の会（産友会）」の会員中小企業の課題を抽出し、それをオール産総研のシーズとマッチングさせることによる研究成果の橋渡しを行っています。産総研の広範な研究成果、バイオマス研究に関する技術シーズ及び地域の中小企業の皆さんからの技術相談等をホームページから受け付けています。お気軽にご相談下さい。

産総研中国センターホームページ <http://www.aist.go.jp/chugoku/>

産総研中国センター概要

代表者	中国センター 所長 柳下 宏	担当者	産学官連携推進室 山崎宗広
郵便番号	〒739-0046	TEL	082 - 420 - 8245
住所	広島県東広島市鏡山 3-11-32	FAX	082 - 420 - 8281
		E-Mail	c-renkei-ml@aist.go.jp
		URL	http://www.aist.go.jp

下関市 (産業立地・就業支援課)



下関市は、事業所の新設や増設に対する投下固定資産への補助だけでなく、更新や移転に対しても固定資産税相当額の支援や新規雇用に対する支援、その他さまざまな支援制度があります。また、事務系職種の支援も充実しています。

主な支援制度

■下関市企業投資促進補助金

○業種

製造業（植物工場を含む）、こん包業、水運業、インターネット・データ・センター業、医療に付帯するサービス業、倉庫業、インターネット付随サービス業、その他の保険衛生、自然科学研究所、道路貨物運送業、情報サービス業、コールセンター業

○対象 新設、増設

○支援の内容

・家屋、償却資産の5% 上限2億円

○要件

（事業者の区分、地域

投資固定資産総額、新規雇用従業員数）

（中小企業者、過疎地域

5千万円以上、3人以上または過疎地域の居住者2人以上）

（中小企業者、過疎地域以外

2億円以上、5人以上）

（中小企業者以外、過疎地域

2億5千万円以上、6人以上または、過疎地域の居住者4人以上）

（中小企業者以外、過疎地域以外

10億円以上、10人以上）

■事業所設置奨励金

○業種 左記に同じ

○対象 新設、増設、更新、移転

○支援の内容

・土地、家屋、償却資産にかかる固定資産税相当額（3年度間 各年度上限1億円）

・新規雇用正社員 1人当たり50万円

・新規雇用（上記以外）

1人当たり15万円

○要件

製造業、道路貨物運送業、水運業、倉庫業、こん包業

（事業者の区分、投資固定資産総額）

（中小企業、3千万円以上）

（大企業、5億円以上）

植物工場、インターネット・データ・センター業、医療に付帯するサービス業、インターネット付随サービス業、その他の保険衛生、自然科学研究所、情報サービス業、コールセンター業

（事業者の区分・投資固定資産総額等）

（中小企業、3千万円以上、又は1千万円以上かつ新規常用従業員3人以上）

（大企業、1億円以上）

その他の支援制度

■回線通信料等奨励金

■下関市新規雇用促進対策住居費補助金

■下関市中心市街地事務所立地促進補助金

■下関市工業用水引込管設置補助金

問い合わせ先

代表者 産業立地・就業支援課長 山本 卓広
住所 〒750-0009
山口県下関市上田中町一丁目16番3号
E-Mail sgsangyo@city.shimonoseki.
yamaguchi.jp

担当 産業立地・就業支援課産業立地係
TEL 083-231-1357
FAX 083-235-0910
URL <http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/kigyo/>

周南市産業振興部 商工振興課 企業立地推進室

周南市では、新たな事業所の設置や、既存事業所を増設、更新された場合に固定資産税相当額を補助する制度を用意しております。

新たな設備投資をお考えの事業者の皆さまは、どうぞお気軽にご相談ください。

主な取組（奨励支援制度の内容）

◆対象業種

- 製造業
- 物流業（製造業と密接に関連する事業に限る）
- 重点立地促進事業
 - ①製造業における研究開発事業
 - ②水素関連事業
 - ③医療関連事業
 - ④環境エネルギー関連事業
 - ⑤バイオ関連事業
 - ⑥ヘルスケア関連事業

◆投下固定資産総額の要件

（カッコは固定資産総額の内、償却資産の額）

- 製造業、物流業
 - 中小企業 2千万円（1千万円）以上
 - 大企業 5億円（2億5千万円）以上
- 重点立地促進事業
 - 中小企業 2千万円（1千万円）以上
 - 大企業 1億円（5千万円）以上

◆対象となる新設・増設・更新

- ・新設 市外企業の新規立地
- ・増設 市内企業の設備・装置等の拡張等
- ・更新 市内企業の設備・装置等の更新

※「新設」の場合、新規雇用条件あり

中小企業3人以上、大企業10人以上

※「更新」の場合は、生産の増強または製品の高付加価値化と環境負荷軽減が必要

奨励支援制度の詳細については、下記までお気軽にお問い合わせください。

◆奨励支援の内容

1. 事業所等設置奨励金

◎奨励金の額

中小企業

投下固定資産に係る

固定資産税相当額を3年度間

※限度額1億円

大企業

投下固定資産に係る

固定資産税相当額の1/2を2年度間

※限度額3億円

2. 雇用奨励金

新規雇用従業員1人につき**20万円**

※新規雇用従業員が障害者の場合、

**1人につき10万円を加算し、
3年度間交付**

3. 研究者集積奨励金

研究者1人につき**50万円**

事業所概要

代表者 企業立地推進室長 富永将介

住所 〒745-8655

周南市岐山通1-1

E-Mail shoko@city.shunan.lg.jp

担当者 企業立地推進室 富永・山本

TEL 0834-22-8223

FAX 0834-22-8357

URL <https://www.city.shunan.lg.jp>

地方独立行政法人山口県産業技術センター

(宇部市)

『イノベーション推進センター』を中心に中小企業様の「医療機器開発の中核的技術支援拠点」として、

- ・医療関連産業の情報収集と研究開発の推進
- ・産学公金コーディネートの促進
- ・製品化に伴う治験、法規制、許認可取得支援

に取り組んでいます。



上：産業技術センター
左：新事業創造支援センター
(貸研究室)

技術と製品

①ウェアブルストレス評価装置の開発

H25-H27 経産省戦略的基盤技術高度化支援事業（小規模事業者枠）の採択を受け、製品化に向けて中小企業様と取組を継続しています。

解析手法の研究（特許取得済）から、回路・ソフトウェア開発、エビデンス評価までを共同で実施しています。



①ウェアブルストレス評価装置



②内視鏡手術用鉗子ハンドルの開発

②内視鏡手術用鉗子ハンドルの開発

日本人の標準体型を意識したハンドルの設計、使い易さと簡易な機構のラチェット機能の設計、3Dモデル試作による官能評価試験を実施しました。

③車椅子の縦列連結装置の開発

連結装置の機構設計及び解析、後方車椅子操作の方向制御性解析、ワンタッチ着脱方法を開発しました。



③車椅子の縦列連結装置の開発

技術分野：その他（技術支援機関）

主要設備 / 許可・認可等

各種開放機器を整備しておりますので、ご利用下さい

<3D 試作関連>

金属／樹脂積層式造型機、インクジェット式光造型機、真空注形システム

<計測器関連>

血流画像装置、X線CT装置、生体計測装置、赤外線熱画像装置、分光測色計

ミックスド・シグナル・オシロスコープ、電波暗室(EMC/EMI)、無響室、人工気象室

ほか、詳細はお問い合わせ下さい。

開放機器のお問い合わせ（0836-53-5050、soudan@iti-yamaguchi.or.jp）。

センター概要

代表者 理事長 木村 悦博

住所 〒755-0195

山口県宇部市あすとぴあ 4-1-1

担当者 イノベーション推進センター 松本 佳昭

TEL 0836-53-5061

FAX 0836-53-5071

E-Mail Inv_medical@iti-yamaguchi.or.jp

URL <http://iti-yamaguchi.or.jp>

公立大学法人 山口県立大学 (山口市)



公立大学法人
山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

本学は山口女子専門学校を母体とし、「人」に着目した教育研究を行っています。これによって学生は「地域の一員になる気持ち」と「社会実践力」を培い、地域マインド豊かに地域で活躍する人材に育っています。

また地域貢献大学として、健康や文化に関わる分野の研究成果を地域に還元しています。

主な取組

文部科学省の「地（知）の拠点」事業に採択され、「健康福祉社会づくり」「やまぐち学」「ライフノベーション」の三分野の研究プロジェクトを推進しています。

1. 健康福祉社会づくり研究

「県民の保健・医療・福祉を支える人材の確保と質的向上」を志向した、「地域における包括的ケアシステムの構築」など、県民の健康づくりに資する総合的研究。

2. ライフノベーション研究

「福祉・医療」及び「生活文化」における新産業・新事業の創出を志向した、「人間性尊重のサービスデザイン」等、ライフノベーションに資する総合的研究。

3. やまぐち学研究

「コミュニティづくりや交流人口の増加」を志向した、「有縁文化創生とまちづくり」等、県民の生活の質（QOL）の向上に資する総合的研究。

在宅医療フォーラム in 防府
参加費：無料
日時：2016年3月10日(木)
18時30分～20時30分
場所：防府医師会館
2階看護学校教室
(防府市三田第1丁目3-1)

基調講演
栄養療法は今後、病院と在宅
山下智香先生
山口県栄養士会副会長
山口県在宅医療センター副院長
山口県在宅医療センターネットワークの理事長

講演1
今後の在宅医療を推進するための
「山形県在宅医療フォーラム」
山口県在宅医療センター
中倉 貴子 先生

講演2
「高齢者医療の現状（改題）」
あひこに入らざるに代表
佐村 史郎 先生

パネルディスカッション
在宅医療推進をよりよく推進するために
山下智香先生
松村 史郎先生
山口県栄養士会会長
中倉 貴子先生
佐村 史郎先生
山口県在宅医療センター代表
中倉 貴子先生
山口県在宅医療センター代表
中倉 貴子先生

主催：山口県立大学 後援：山口県栄養士会
企画運営：YOC健康福祉社会づくり研究会

問い合わせ先
YOC健康福祉社会づくり研究会
TEL: 083-928-2227

地(知)の拠点

福祉でまちづくりフォーラム
地域で安心して暮らすことのできる社会に向けての
保健・福祉によるまちづくり

基調講演
「保健・福祉でまちづくり」
～コミュニティソーシャルワークの視点から～
文政学院大学 人間福祉学科 准教授
中島 修 氏

後援「養寿市担任有縁医療推進報告」
山口県立大学社会福祉学部 福祉専攻
養寿市社会福祉協議会 羽根一孝 氏

シンポジウム
「福祉でまちづくり実践」
・青川麻琴 早野社会福祉協議会 榎和子 氏
・熊本県水原市社会福祉協議会 田村久子 氏
・萩市社会福祉協議会 泉 浩 氏

平成29年1月6日(金) 13:30～16:30
山口県立大学 4号館 D-15 教室
1007546371021

参加無料

問い合わせ先
YOC健康福祉社会づくり研究会
TEL: 083-928-2227

地(知)の拠点

第20回 環境保全型農業フォーラム
里山資本主義 暮らし見た
山口県の
有機農業の可能性

平成28年
2月28日(日)
10:00～15:30
基調講演：盛谷浩介氏
13:30～15:30

講演1：村上誠哉氏(宮城県 農研機構)10:45-
講演2：鈴木誠哉氏(宮城県 農研機構)11:30-

会場：不二越研修ホール(山形小野田文化会館)
山形県小野田市

料金は：500円 税別(当日現金でのみ受付、事前申し込みは不要です。)

お問い合わせ先
YOC健康福祉社会づくり研究会
TEL: 083-928-2227

地(知)の拠点

技術分野：その他（サービスデザイン、コミュニティづくり）

主要設備 / 許可・認可等

アクティブ・ラーニング・スタジオ (Y-ACT)

大学概要

代表者	理事長 江里健輔 学長 長坂祐二	担当者	地域共生センター・共生研究部門 大前貴之
住所	〒753-8502 山口県山口市桜畠 3-2-1	TEL	083 - 928 - 5622
学生	学部：1,338 大学院等：62	FAX	083 - 928 - 5622
教職員	教員：109 職員：94	E-Mail	cccd@yamaguchi-pu.ac.jp
		URL	http://www.yamaguchi-pu.ac.jp/index.html

地方独立行政法人 山口県立病院機構

(防府市)

地方独立行政法人山口県立病院機構は、県立病院の「総合医療センター」と「こころの医療センター」を管理・運営する法人です。それぞれの病院は、「県民の健康と生命を守るために満足度の高い医療を提供する」、「県民の心の健康を支える質の高い医療を提供する」との基本理念に基づき、将来にわたって心身両面から県民に良質の医療を提供して参ります。



主な取組

【山口県立総合医療センター】



本院は高度急性期・専門医療を担う県の基幹病院です。へき地医療拠点病院、総合周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、救命救急医療センター、基幹災害拠点病院など、県立病院としての多くの機能の拡充を進めていることは勿論のこと、日進月歩の先進医療を提供でき、患者さん主体の高度急性期病院を維持・発展すべく、各部門が日夜研鑽・努力しています。

今後とも、県民に満足度の高い医療を提供し、地域に貢献できる病院を目指して参ります。



技術分野：サービス

【山口県立こころの医療センター】



本院は、平成22年から2つの精神科救急入院棟を運用し、急性期治療の体制を強化しています。

また、児童・思春期、認知症等の専門外来を充実させ、臨床心理センターと認知症疾患医療センターにおいて、児童相談所や地域包括支援センター等との連携を進めています。

今後とも、患者さんご家族に質の高い医療を提供することを最優先として、医療安全の推進や多職種による専門治療プログラムの充実にも努めます。



機構概要

代表者 理事長 前川 剛志
住所 〒747-8511
山口県防府市大字大崎 77 番地
資本金 3,144,411 千円
従業員数 855 名

担当者 本部事務局 総務・人事室
TEL 0835 - 28 - 3311
FAX 0835 - 22 - 1211
E-Mail ypho-hq@ymghp.jp
URL <http://www.ypho.jp/>



山口県及び他の中小企業支援機関と連携を図りながら、地域の経営支援を有効に活用しつつ、経営革新の取組をはじめ、販路開拓、新分野進出、技術開発、人材育成など、企業の事業展開のステージに応じた総合的な支援に努めています。

主な取組

■経営相談

- 経営課題の解決に向けた相談対応
 - ・山口県よろず支援拠点（相談窓口）
 - 総合的・先進的アドバイス
 - 支援チーム等編成支援
- 新しい取組や更なる成長への支援策
 - ・研究開発、新サービス開発への助成金
 - ・ビジネスプラン評価（事業化支援）
 - ・専門家派遣

■設備導入支援（対象：小規模事業者等）

- 設備貸与制度
 - 企業に代わり財団が設備を購入し、「割賦販売」もしくは「リース」を行う

■販路開拓支援

- 取引あっせん
- 県内外の発注企業との商談会開催
- 県内での展示会開催・全国規模の専門展示会への企業との共同出展
- 事業拡大・人材育成支援
 - ・特定テーマ事業化支援助成金
 - ・OJT 研修助成金等

■人材育成・知財支援

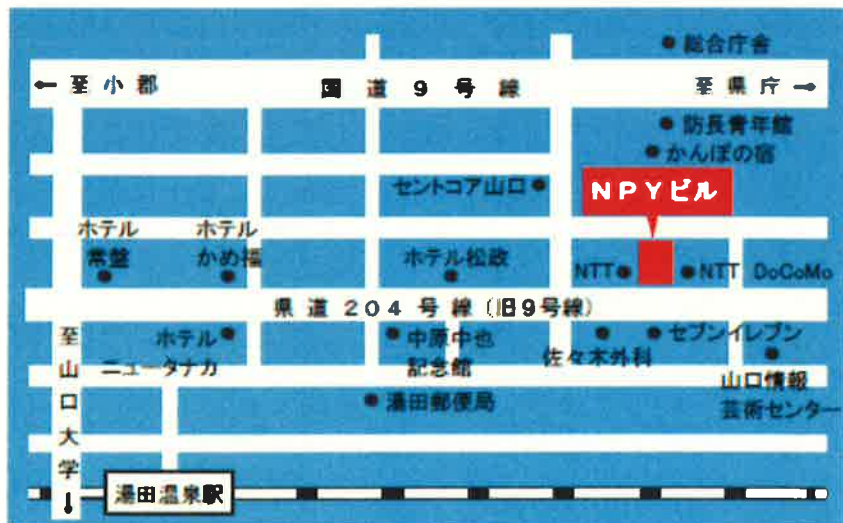
- セミナーの開催
- 知的財産（特許・商標等）の活用支援
 - ・特許等取得活用支援アドバイザー設置
 - ・知財専門家派遣（弁理士、弁護士等）
 - ・国内及び外国への出願に対する助成



商談会開催



展示会への共同出展



財団概要

代表者 理事長 田村 浩章
 住所 〒753-0077
 山口市熊野町 1-10NPYビル 10階

担当者 事業活動支援部
 TEL 083-922-9926
 FAX 083-921-2013
 E-Mail info@ymg-ssz.jp
 URL <http://www.ymg-ssz.jp>

国立大学法人 山口大学 医学部 (宇部市)

～明日に架・駆・賭ける医学を目指して～
 高レベルな実践的研究成果を社会へと還元し
 “知恵と志”を備えた医療人を長州から輩出します。



医学部について

●学部／医学科, 保健学科

●大学院／医学系研究科

医学科には、基礎系15講座および臨床系24講座、保健学科には、看護学系4講座、検査技術科学系2講座があり、実習の充実を図る等によりチーム医療を担う若き医療人の育成に取り組んでいます。

医学系研究科は、先端医療の開発研究に必要な創造的で幅広い視野に立ち、再生医療、神経科学、循環器学、癌といった多くの領域で世界をリードする研究成果を得るとともに、世界に貢献できる次世代の研究者を育成しています。

■教育研究分野

医学専攻／基礎系講座	医学専攻／臨床系講座	
<ul style="list-style-type: none"> ・器官解剖学 ・神経解剖学 ・分子細胞生理学 ・神経生理学 ・システムズ再生・病態医化学 ・医化学 ・薬理学 ・病理形態学 ・分子病理学 ・ゲノム・機能分子解析学 ・環境保健医学 ・公衆衛生学・予防医学 ・法医学 ・免疫学 ・医学教育学 	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器内科学 ・器官病態内科学 ・病態制御内科学 ・神経内科学 ・呼吸器・感染症内科学 ・高次脳機能病態学 ・小児科学 ・器官病態外科学 ・消化器・腫瘍外科学 ・整形外科学 ・皮膚科学 ・泌尿器科学 	<ul style="list-style-type: none"> ・眼科学 ・耳鼻咽喉科学 ・放射線医学 ・放射線腫瘍学 ・産科婦人科学 ・麻酔・蘇生学 ・脳神経外科学 ・歯科口腔外科学 ・臨床検査・腫瘍学 ・救急・総合診療医学 ・医療情報判断学 ・臨床薬理学
保健学専攻／看護学系講座	保健学専攻／検査技術科学系講座	
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護学 ・臨床看護学 ・母子看護学 ・地域・老年看護学 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎検査学 ・病態検査学 	

学部概要

代表者 医学部長 谷澤 幸生
 住 所 〒755-8505
 山口県宇部市南小串 1-1-1

担当者 医学部総務課総務係
 T E L 0836 - 22 - 2111(代)
 F A X 0836 - 22 - 2113
 E-Mail me202@yamaguchi-u.ac.jp
 U R L <http://www.med.yamaguchi-u.ac.jp/>

国立大学法人 山口大学医学部附属病院

(宇部市)

常に患者さんの視点に立ち、医療人の育成と
地域医療の発展を目指します。



病院の概要

本院の基本理念は、1) 患者の立場に立った全人的医療の実施、2) 将来を担う優れた医療人の育成、3) 世界に先駆けた先端的で高度な医療の推進、4) 地域医療の中核病院としての貢献を掲げています。患者中心で透明性の高い医療を提供し、変化する社会の要望に応える全人的医療のできる有能な医療人の育成と、医学・工学・生命科学の英知を集約した新しい診断および治療法の研究開発に邁進しています。

●病床数・診療科

- ・病床数：736床
- ・診療科：29診療科/23診療部

●病院指定・認定

- ・特定機能病院
- ・高度救命救急センター
- ・総合周産期母子医療センター
- ・日本医療機能評価機構認定病院
- ・がん診療連携拠点病院指定
- ・肝疾患診療連携拠点病院
- ・専門医研修認定施設 等

●関連施設

- ・医療人育成センター
- ・クリニカルスキルアップセンター
- ・地域医療教育研修センター
- ・臨床研究センター
- ・腫瘍センター
- ・肝疾患センター 等



再開発整備事業

「Your Health, Our Wish —あなたのために—」

山口県の中核医療機関として、地域医療の安心・安全のために、また、多様化する患者さんのニーズに応えるために、「再開発整備事業」によって診療の高度化・専門化・情報化に向けて更なる充実を目指します。

◎コンセプト

- 1.教育・研修戦略……医新マインドを備えた人材を育成し
求められる医療に応えます。
- 2.研究開発・先進医療戦略……先進医療の導入を推進し
治療の可能性を高めます。
- 3.地域医療推進戦略……山口県の医療を支えるチーム山口
のリーダーを担います。
- 4.病院基盤強化戦略……安心・安全な病院の実現。
患者・職員の満足度を向上します。



病院概要

代表者 院長 田口 敏彦

住 所 〒755-8505

山口県宇部市南小串 1-1-1

担当者 医学部総務課総務係

TEL 0836-22-2111(代)

FAX 0836-22-2113

E-Mail me202@yamaguchi-u.ac.jp

URL <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/>

国立大学法人 山口大学 工学部 (宇部市)

地域の基幹総合大学の工学部として、優れた高度専門技術人材の育成、ものづくりにおける最先端領域での研究の推進を通して、地域の行政や産業界との連携により、地方創生への貢献を目指します。



工学部について

山口大学工学部には約 200 名の研究者が所属し、機械、建設、化学、電気、情報、基礎の各分野の最先端領域で活躍しています。また、工学部7学科（学生数：約 2,400 名）、大学院（工学系学生数：約 750 名）の教育研究指導に従事しています。

- 学部 ・機械工学科 ・社会建設工学科 ・応用化学科 ・電気電子工学科
・知能情報工学科 ・感性デザイン工学科 ・循環環境工学科
- 大学院 ・創成科学研究科

工学部のある常盤キャンパスには、大学研究推進機構（産学公連携センター、知的財産センター、URA 室）が設置されており、民間企業や公的機関とのリエゾン活動、受託研究や共同研究などのサポートが行われています。

医療関連分野の取り組み

山口大学工学部研究紹介冊子



「工学部でどのような研究が行われているのか分からない」という声にこたえるため、各研究者の一押しの研究を未来に役立つ可能性の観点から、一冊の本にまとめました。

是非、業務改善や新規異分野への参入

を検討される際の研究シーズの把握にご活用いただくと幸いです。

右の YUBEC に関係する研究者も含め、工学部全教員の情報をご覧いただけます。

Web 公開も行っています。

[http://www.eng.yamaguchi-u.ac.jp/](http://www.eng.yamaguchi-u.ac.jp/10info/j_researchbook.html)

[10info/j_researchbook.html](http://www.eng.yamaguchi-u.ac.jp/10info/j_researchbook.html)

山口大学生命医工学センター(YUBEC)



山口大学は、2001年に応用医工学系専攻を、2006年に応用分子

生命科学系専攻を立ち上げ、わが国の医工学連携推進の先導を切りました。上記2専攻をベースに、YUBECは、2014年に、先進的な医工学の知の拠点形成を目的に、医学と工学の境界領域で活躍する研究者が集まり、医薬と医療機器開発を推進するセンターとして再スタートしました。

YUBECではヒトの体と医療に対して工学的にアプローチします。ヒトの体を工学的に解析応用することで、医薬、診断技術、医療機器の開発が可能となります。さらに、地域への医工学の普及、企業への医工学研修から企業と連携した研究成果の実用化も目指します。

学部概要

代表者 工学部長 進士 正人
住所 〒755-8611
山口県宇部市常盤台 2-16-1

担当者 工学部総務企画課総務企画係
TEL 0836-85-9005
FAX 0836-85-9016
E-Mail en282@yamaguchi-u.ac.jp
URL <http://www.eng.yamaguchi-u.ac.jp/>

有限会社 山口ティール・エル・オー（宇部市）

山口大学の技術移転機関として山口大学の技術や研究情報を提供し、企業の技術開発・新商品開発や新規事業への展開を支援いたします。山口大学とのワンストップ窓口として企業と研究者の皆様を支援いたします。



主な取組

◆山口大学のシーズ紹介

山口大学の出願特許を分野別にシーズ集にまとめ掲載し、バイオ・医療関係の技術シーズも情報提供しております。

Web 公開も行っておりますのでご覧下さい。

<http://www.tlo.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/>

無料開放特許も掲載しておりますので、新規事業や新商品の開発へ是非ご活用下さい。



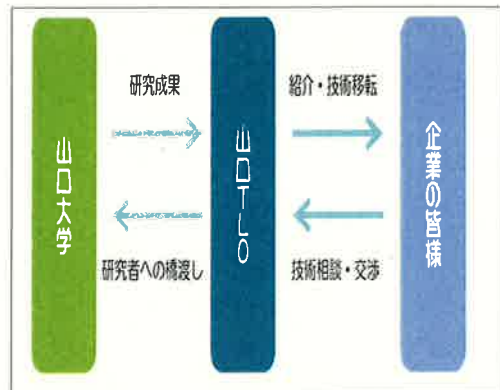
◆研究ノート「リサーチ・ラボノート」の販売
山口大学とコクヨS&T（株）により共同開発。「あなたの発明を守る研究記録用ノート」です。企業での研究・開発現場でもご活用下さい。



エントリーモデル



スタンダードモデル



◆発明・技術相談

相談内容に応じて大学の研究者をご紹介いたします。共同研究のコーディネーター、契約対応をいたします。知的財産のご相談は専門家がお受けします。

◆特許調査

技術動向調査や先行文献調査をお受けいたします。

◆助成金等の獲得・申請支援

公的支援制度を情報提供します。補助金や助成金の獲得にご活用下さい。TLOコーディネーターによる申請書作成支援をいたします。

◆セミナー・講習会の開催

セミナー開催を承ります。セミナーや講演会をご案内いたしますので人材育成にご活用下さい。

技術分野：その他（技術支援等）

機構概要

代表者 代表取締役 佐田 洋一郎

住所 〒755-8611

山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

資本金 400万円

従業員数 7名

担当者 技術移転部 三輪 文

TEL 0836-22-9768

FAX 0836-22-9771

E-Mail tlojim@yamaguchi-u.ac.jp

URL <http://www.tlo.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp>